

「お店のポスターづくり」博物館

わたしたちの町 新町 ～「きらり☆アーケード」を見つけに行こう～

所属名：	徳島県 徳島市立	新町小学校
実践学年組：	3年	1組
氏名：	八波田 美幸	

実践記録の概要（単元略案）

全 24 時間

時数	学習活動	先生の指導・支援 および評価	コラボノートの活用
4	「きらり☆アーケード」を見つけに行こう ・商店街の昔と今を比べて商店街の抱える問題に気づく。 ・多くの店が閉店している中で、今も続いている店、新しくできた店があることを知る。	・地図や、写真等の資料で、商店街の現在の状況に気づかせる。 ・商店街を訪れる人が激減しているにもかかわらず、古くからある店があること、新しくできた店があることに気づかせる。	
4	街を歩こう ・商店街を歩いて、様々な店があることを知り、詳しく調べたい店を決める。	・興味を持った店ごとに探検のチームを作る。	
6	町を探検しよう。 ・グループで店を探検し、店のようすや、店の人の思いに気づく。 ・店の人の話を聞き、思いに気づく。	・店の商品だけでなく、店の人の商店街に対する思いを感じることができるよう、支援する。また、事前をお願いしておく。	
6	店を宣伝するポスターを作ろう。 ・キャッチコピーを考え、店を宣伝するポスターを作成する。	・インタビューや探検を振り返り、「お店ならではの」と思うことが整理できるようにする。	ポスター作りの協働、教師からのアドバイス機能を利用した支援を行う。
4	専門家のアドバイスをもとに、ポスターを完成させる。 ・アドバイスをもとに、店のよさがより伝わるポスターに改善する。	・店の良さが伝わるポスターになるように、アドバイスの意味をしっかりと考えさせる。	交流サイトの専門家からのアドバイスをいただく。アドバイスをもとに、改善点を話し合う。 ポスター作製時、アドバイス機能を利用した支援を行う。

第3学年 総合的な学習の時間 学習指導案

授業者 八波田 美幸

児童数 18名

1 単元名 わたしたちの町 新町 ～「きらり☆新町」を見つけよう～

2 単元について

(1) 児童の実態と教師の願い

3年生の子ども達は、明るく元気で、何事に対してもまじめに取り組むことができる。しかし、与えられた課題で手順の決まった作業には集中して取り組むことができるが、自分から課題を見つけたり、解決方法を考えたりすることは、苦手な子どもが多い。また、積極的に自分の考えを表現する力や、相手に伝わるように表現する力が十分でない。このような実態から、子ども自らが課題を見つけ、主体的・協働的に学ぶ力、進んで自分の考えを表現する力や、考えを伝える力を育てることが必要であると考えた。それだけでなく、歴史と伝統のある自分たちの地域に誇りと愛情を持ってほしいと考えた。

(2) 単元について

3年生の子ども達は、これまで生活科や社会科で校区の探検を経験し、町の様子や特色について学習している。本単元では、探究課題を地域とすることにより、子どもが意欲的に新町の魅力を追究したり、町やそこで活動する人と関わったりすることで主体的・協働的な学びにつながると考えた。

そこで、学校や地域、地域を訪れる人に地域のすばらしさを伝えることを目的に「わたしたちの町 新町～きらり☆新町を見つけよう～」の活動をスタートさせた。表現方法は、伝える相手や内容により、その都度話し合うこととした。ここでは、地域を探検し必要な情報を集めたり、集めた情報を整理し表現したりする力である情報活用能力が必要である。また、表現の際には、事実だけでなくそこから想像できることや、地域の人々の町に対する思いについても考えさせることにより、地域に対する思いを育むことにした。

目的に合わせて情報を活用することは、情報活用能力の育成に関する指導内容、国語科「目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすること」（小学3．4年）と関連すると考えた。

3 単元の目標

新町のすてき（きらり）を調査し伝える活動を通して、まちのよさや、まちの人々の思いに気づき、自分たちもまちの一員としてまちに愛着をもって生活しようとすることができる。

4 探究課題

まちの良さや、地域の人の思い

5 単元で育てたい資質・能力

事实的知識・概念	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
<p>自分なりの視点をもって情報を収集し表現することで、町の様子を理解する。</p> <p>まちの人の思いが、まちをつくっていることに気付く。</p>	<p>まちの人や友達と関わりながら情報収集し、まちの良さや、まちの人の思いが町をつくっていることを整理・分析する。</p> <p>体験から学んだまちの人のまちへの思いや自分たちの思いを進んで表現したり発信したりしようとする。</p>	<p>まちを探検したり、まちの人の思いをインタビューすることを通して、まちの人の思いを知ったり、友だちと協力することの大切さに気付いたりする。</p> <p>まちの一員として、自分のできることを考え、実践し、学校やまちを大切にしていこうとする。</p>

6 単元計画

月	「わたしたちの町 新町」 ～「きらり☆新町」をみつけよう～	各教科等・学校行事との関連
4	新町のきらりを見つけに行こう おすすめの場所を紹介し合おう 探検の計画を立てよう	わたしたちの大好きなまち（社会） 春の楽しみ（国語）
5	「きらり☆眉山」を見つけに行こう 伝える方法を考えよう 予想される方法・・・絵地図・図鑑等	遠足（眉山登山）
6	「きらり☆新町川」を見つけに行こう 伝える方法を考えよう 予想される方法・・・絵地図・ポスター等	報告する文章を書こう（国語）
7	「きらり☆アーケード」を見つけに行こう	「ありがとう」を伝えよう（国語） 本を使って調べよう（国語） 市を紹介するポスターを作ろう（社会）
9	学校みんなに伝えよう （フレンズ集会での発表）	店で働く人と仕事（社会） 伝えよう楽しい学校生活（国語）
10	きらりさんに会いに行こう	ローマ字（国語） 修飾語（国語）
11	予想される方法・ポスター・ちらし等	
12	「きらり☆ヒストリー」を見つけに行こう 瑞巖寺・滝のやきもち	ちらしを作って店の工夫を伝えよう（社会）
1	「きらり☆新町」を伝えよう パンフレット・散歩コースづくり	
2	「きらり☆新町」になろう	
3		自分の町を大切に（道徳）

7 本時の目標

○店の人へのインタビューや探検を通して集めた情報を整理し、「お店ならではの」といえる特徴について話し合い、自分なりの考えをまとめることができる。

主な学習活動	教師の関わり
<p>1. 本時のめあてをつかむ。</p> <p>ポスター作製のために、「お店ならではの」といえる特徴を見つけよう。</p> <p>2. 探検を振り返り、「お店ならではの」ということを整理する。</p> <p>3. お店の特徴、そこで働く人の思いについて共有する。</p> <p>(評)友だちの考えを参考に話し合いに参加している。</p> <p>4. 本時の振り返り（ワークシートに考えたことをまとめる）と次時への見通しをもつ。</p>	<p>1. 前時までの活動を振り返り、本時のめあてを確認する。</p> <p>2. これまでのインタビューや探検を振り返り、「お店ならではの」とは、品物、サービスだけではないことを確認する。</p> <p>3. 他のグループと自分たちの考えを比べることができるよう、整理しながら板書する。</p> <p>4. キャッチコピーを考へることを知らせ、次時への見通しをもたせる。</p>

8 評価及び指導の例

「十分満足できる」と判断される状況	自分なりの考えをもって話し合いに積極的に参加している。
「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導	フレームワークを使うことによって、自分たちの考えと他の班の考えを比較しやすくする。

7 本時の目標

○アドバイスをもとに、自分たちのポスターをよりよくするための方法を考えることができる。

主な学習活動	教師の関わり
<p>1. 本時のめあてをつかむ。</p> <p>アドバイスをもとに、ポスターをよりよいものにしよう。</p> <p>2. 届いたアドバイスや店の人の言葉から、店のよさがより伝わるポスターになるように、改善することを話し合う。</p> <p>(評)アドバイスを受け、改善点を考えている。</p> <p>3. 他のグループと交流し、よりよい方法を伝え合う。(ラウンドスタディ)付箋でアドバイスを伝える。</p> <p>4. 改善することを、グループでまとめる。</p> <p>5. 本時の振り返りと次時への見通しをもつ。</p>	<p>1. 本時のめあてを確認する。</p> <p>2. 自分たちの好みではなく、店のよさが伝わるポスターを作ることが大切であることを確認する。</p> <p>3. 他のグループのよいところは、自分たちのグループに生かせるよう、支援する。</p> <p>4. 話し合ったことを整理することで、改善点を明確にするよう支援する。</p> <p>5. 次時の活動を確認する。</p>